

2025（令和7）年度活動計画について

（1）方針

- ① 修学旅行の教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化を追究しより良い形の修学旅行の実施を目指す。
- ② 連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- ③ 関係機関・団体と連携・協力を積極的に進め、適切な情報収集と発信等を適宜行い、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

（2）活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行の展開を目指す。

（3）活動の大綱

① 会議等の日程：下表の通り

	会議名	予定内容	開催日（暫定）	時間	会場（暫定）
関修委が主催する会議	総会 第1回運営協議会	組織・役員体制の決定 年度計画の審議・決定 他	6月4日（水）	14:00	東京文化会館
	第2回運営協議会	修学旅行の実施状況の報告、 2027年度輸送申込状況の報告 他	10月1日（水）	～	都内（未定）
	第3回運営協議会 JRと意見交換会	2027年度輸送計画策定状況報告 JR各社との意見交換会を開催	11月14日（金）	17:00	都内（未定）
	役員代表者会	2026年度年間活動計画の策定 他	2月13日（金）	※一部、 時間帯 相違	九段南ビル 6階会議室
	第4回運営協議会	2025年度活動の総括 2026年度活動計画、事例発表	2月25日（水）		都内（未定）
全修協が主催する会議等	首都圏3地区（東京・神奈川・関東5県）校長会 修学旅行委員会 連絡会（第1回） （陳情計画、意見・情報交換）		6月27日（金）	14:00 ～ 16:30	都内（未定）
	第42回全国修学旅行研究大会 （修学旅行の調査研究発表・シンポジウム）		7月23日（水）	13:00 ～ 17:00	九段会館
	三地区（関東・東海・近畿）修学旅行委員会 連絡会 （修学旅行に関する意見・情報交換）		2026（令和8）年 1月23日（金）	14:00 ～ 16:30	都内（未定）
	首都圏3地区（東京・神奈川・関東5県）校長会 修学旅行委員会 連絡会（第2回） （修学旅行の実施状況報告、意見・情報交換）		2026（令和8）年 1月30日（金）	14:00 ～ 16:30	都内（未定）

② 会議出席者

- ア 総会・運営協議会：会長、副会長、運営委員（各県2名、さいたま市1名、千葉市1名）
（定数17名）
- イ 役員代表者会：各県1名、さいたま市1名、千葉市1名
（定数7名）
- ウ 事務局：全修協理事長、事務局長、関修委事務局長、事務局員（4名）

③ 県別の役割分担表 【2025（令和7）年度～2029（令和11）年度】

年度 役割	2025(R7)年度	2026(R8)年度	2027(R9)年度	2028(R10) 年度	2029(R11) 年度
会長選出県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	茨城県
運営委員長	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	茨城県
〃副委員長	群馬県	埼玉県	千葉県	茨城県	栃木県
事例発表県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	茨城県

(4) 計画輸送について

① 2025（令和7）年度計画輸送の実施

2025（令和7）年度出発式（関東地区公立中学校修学旅行出発式）

ア 挙行日時：2025（令和7）年5月8日（木）午前7時20分～7時35分頃

イ 参加予定：7時51分東京発「のぞみ号」乗車校

千葉県立高洲中、習志野市立第七中、柏市立土中、柏市立西原中、

印西市立木刈中、印西市立小林中、白井市立大山口中 全7校/1,115名

※ 関修委を代表しての挨拶は、関修委役員の吉田校長先生（千葉県）に依頼

② 計画輸送の利用校拡大

2025（令和7）年度も引き続き、組織・活動への理解を得るため、関修委PR用リーフレット等を使用しつつ各県委員会（部）へも積極的に出席し、各学校への啓発に努める。

③ 2027（令和9）年度輸送計画の策定

計画輸送（連合体）の理念、趣旨等の理解に一層努め、各校が協力し合い全ての中学校が円滑に修学旅行を実施できるように努めるとともに、実施時期の平準化に最大限取り組んでいく。

ア 関西Aコースに希望が集中する傾向だが、東京近郊の学校には、関西Cコースの選択も有ることを周知する。

イ 関西Bコースの利用促進の依頼を行う。また、コースの利点をより増すために、JRに対して、30分早い出発と30分遅い帰着を働きかけていく。

ウ 北海道・東北（山形・秋田）・上越・北陸方面の新幹線利用の拡大を図る。

エ 利用申込みの段階で、東京駅までの継走列車の利用を明確化する。

オ WEBシステムによる「輸送申込システム」の改修を行い、更に円滑な稼働を実現する。

カ 申込みに際し、各学校に対して正確な入力と期日厳守を働きかける。

キ 計画策定の作業日程（案）

【輸送計画策定の手順】

6月	6/4	総会・運営協議会	2027年度輸送計画の要項を決定
6月	中下旬	各県委員会を通じて	輸送計画及び申込システム使用法を説明
6月	6/10	申込システム稼働	可能な限り、早い稼働を目指す
7月	7/10	各校の申込入力締切	2027年度輸送申込 入力締切（各校が入力）
7月	中下旬	申込未入力校へ督促	未入力校データに基づき、各県⇒未入力校
8月	月上旬	全申込データを集約 各県委員会へ通知	関修委事務局から、各県ごとの申込集計表 （データ）を各県委員会（部）へ送付

9月	中旬	計画策定開始	事務局にて割付原案の作成開始
10月	10/1	運営協議会②	2027年度輸送計画申込み状況等を報告
10月	中下旬	各県チェック	割付原案による抜け落ちチェック（各県）
11月	11/14	運営協議会③	2027年度輸送計画策定の途中経過を報告
11月	11/25	※東京都、神奈川県と 同一日で調整予定。	2027年度輸送計画発表 ※発表当日正午、全修協 HP 上で公開
※2月	上旬	JR への団体申込締切	JR「団体旅行申込書」を旅行会社経由で提出

(5) 調査研究活動について

① 調査研究の継続と充実

- ア 実施状況調査：修学旅行実施の基本調査を中心に、WEB 回答での調査を行う予定。
- イ 研究発表会：関修委独自での研究発表会は開催しないが、全修協主催の「全国修学旅行研究大会」への積極的な参加をお願いする。
- ウ 実践事例発表：第4回の運営協議会の席上で、当年度又は前年度実施の修学旅行1例の事例発表を行う。（発表県は栃木県）

② 現地研修会の実施

修学旅行の充実のために、先生方の現地視察及び研修を計画、実施する。

<研修の方面候補>

- ア 東北方面修学旅行現地研修会：東北の歴史と文化、自然、体験学習、震災学習、世界遺産等の視察、体験学習及び宿泊施設等の視察
- イ 北陸3県修学旅行現地研修会：富山県、石川県、福井県における、それぞれの歴史と文化、伝統、体験学習及び宿泊施設等の視察
- ウ 北海道方面修学旅行現地研修会：北海道の歴史と文化、SDGs等を始めとする教育旅行プログラムの提案と宿泊施設等の視察

<日程案>

現時点で未定だが、7月下旬～8月中下旬の土・日・月を含めた日程で検討する。

(6) 陳情・要請活動について

① 2026（令和8）年度分・修学旅行費等の国庫補助金の増額陳情を行う

国庫補助金の増額陳情額（案）（単価・円）

項目	学校種別	現行の補助金額	2026年度要望額	増額分	
修学旅行	中学校	60,910	65,000	4,090	
	小学校	22,690	30,000	7,310	
校外活動	中学校	宿泊あり	6,100	10,000	3,900
		宿泊なし	2,270	5,000	2,730
	小学校	宿泊あり	3,620	10,000	6,380
		宿泊なし	1,570	5,000	3,430

※ 陳情の実施は、7月下旬～8月上旬頃を予定（後日、別途連絡の予定）

② JR 各社に対する計画輸送に関する改善要望

<重点要望事項>

- ア 継走列車の東京駅直接乗り入れ及び継走特急列車の割引適用
 - イ 関西 A コースの出発時間の繰下げ（30 分程度）
 - ウ 関西 B コースの出発時間の繰上げ（30 分程度）と東京帰着時間の繰下げ（30 分程度）、これに接続する継走列車の運行
 - エ 関西 B コース新幹線専用列車の下限定員の緩和
 - オ 感染症や不測の事態（自然災害や事故）等発生時における迅速・適切な対応と情報提供
- <その他要望事項>
- ア 修学旅行実施を終了した学校から JR 各社に対する要望事項等を集約した中から、新たな課題と認識される事項について申入れを行うとともに、委員及び JR 各社で共有する。

（7）他団体との連携について

① 公益財団法人全国修学旅行研究協会との連携

第 42 回全国修学旅行研究大会への参加
2025（令和 7）年 7 月 23 日（水） 於：九段会館

② 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会 （各地区修学旅行委員会の代表者による意見・情報交換会）

関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会への参加
2026（令和 8）年 1 月 23 日（金）を予定 於：関東地区予定

③ 首都圏 3 地区校長会修学旅行委員会連絡会 （東京都、神奈川県、関修委各県の修学旅行委員会の代表者による意見・情報交換会）

第 1 回：2025（令和 7）年 6 月 27 日（金）を予定 於：都内会場
第 2 回：2026（令和 8）年 1 月 30 日（金）を予定 於：都内会場